（一）　第八千三百三十三號　（火曜日）　THE MANSHU NIPPO　昭和四年七月二十三日　（明治四十一年十月二十五日第三種郵便物認可）

夕刊　滿洲日報　七月二十二日

支那側和平解決を望み 米國、調停提議を待つ

主動的に動き得る準備の爲 駐支公使館武官哈市へ急行

【北平二十一日發電】南京の空氣が昨今非戰解決に傾き米國の調停提議を鶴首して待つ如き情勢に向つたので、此空氣は直に米國側に力強く響いて同國が調停に立たんとする空氣相當濃厚となり、米國公使館も之が爲めマクマレー公使の歸國を見合せ何時でも主動的に動き得る準備を整へてゐる、同公使館附海軍武官パウエル大佐、陸軍武官マグラダー少佐の兩氏は今朝發實情視察の爲めハルビンに急行した

勸告か調停か未定

【北平二十一日發電】スチムソン氏が日英佛三國大使に爲した意見が單に露支兩國に對する勸告に留まるか或は進んで調停に立たんとするものか未だ當地米公使館にも詳報は達してゐない

滿洲里の露支兩軍 十町の間隔で對峙

開戰の危機刻々迫る

【滿洲里二十一日發電】露支兩軍は僅か十町の目と鼻の間隔で對峙し其行動手に取る如く危險刻々迫りつゝあるので市内は引續き大混雜を極め在留邦人婦女子は領事館に立籠り戰事氣分横溢してゐる、北滿在住ロシア國民もぽつ〳〵シベリヤに引揚つゝあり

勞農軍は完全に滿洲里を包圍す

【滿洲里二十一日發電】露軍步兵二千、騎兵八百、砲兵千六百（砲二十五門）を以て滿洲里を完全に包圍し齊多方面よりの赤衞軍續々ダウリア方面に到着しザバイカル勞農軍は支那軍と比較にならぬ程優勢である

鄒總辦も出動

【ハルビン特電二十二日發】支那側消息によれば洮安屯墾局總辦鄒…

殘留露人保護 獨逸領事拒絕

…作華氏は時局切迫とゝもに一旅を率ひ滿洲里へ向ひ國境守備に任じたと

【ハルビン特電二十二日發】ニコフ勞農總領事から引揚に際し事務を託された獨逸領事ストペー氏は面倒なる殘留露國人保護の責任を拒絕したと傳へられてゐる

滿洲里邦人の引揚準備整ふ

【ハルビン特電二十二日發】滿洲里を引揚た邦人の家族四十一名は廿一日午後六時當地に着いた、その談によれば二十日午後四時一行出發までは露支間に何等の戰鬪なく市中平穩で邦人は總て荷物を領事館に預け何時にても引揚げ得る準備が整ふてゐると

支那軍盛に車輛食糧を徵發

滿洲里市中は大混亂

【ハルビン二十一日發電】露支兩軍の正面衝突刻々迫れるため滿洲里日本領事館員、警察署員の家族婦女子二十五名及び露支人の避難民と貴重品を滿載した十五輛より成る列車二十一日十七時四十分滿洲里よりハルビン着、驛頭には同胞の安否を知らんと日支露人で空前の混雜を呈し、目のあたり國境方面の物凄き狀況を浮べ汗と埃に眞黑となつた袖で淚を拭きながら避難の婦女子交々語る

滿洲里市内は噂が噂を生み戰々兢々としてゐます、支那軍は人夫車馬食糧を片つ端から徵發して居りますので彼の地に居殘る百數十名の同胞は遠からず水も食糧も饑饉に見舞はれるでせう私共は此處まで引揚げて來ましたが後に殘る夫の身が案ぜられます

歐洲行旅客引返す

【滿洲里二十一日發電】支那人は列車毎に引揚つゝあるが支那軍參謀は不安の裡にも…

支那全權の一行大連丸に乘込む

青島から陸路赴哈か

滿鐵正副總裁告別挨拶　けふ滿鐵倶樂部における

露軍の侵入を防止するに止む

吉黑兩軍が擔當して 東北政務委員會協議の結果

例へ如何なることあろうとも在留日本人の生命財産は實力を以て保護するから安心されたしといつてゐる、尚當地に立往生しピンに引返した…てゐた歐洲行内外人旅客…

【奉天特電二十二日發】二十一日午後張學良氏を中心として東北政務委員會開會され、會議の主なる題目は對露問題で、仄聞する處に依れば會議中問題の收拾容易ならざるに焦慮せる張學良氏は

亢奮の餘り「今回の問題は全體誰が命令を發したのか、俺はそんな武力回收の訓令を發した覺はない」と拾鉢的の激語を發したさうで、之に對し張作相氏は「勞農側が既に軍事行動を進めつゝある今日問題の外交的解決は中央政府に一任するとしても當方としては露軍を一步も國境內に入れしめず充分の適宜處置を講ずべし」と主張し結局國境の防備は主として吉、黑兩軍之に當り、奉天軍は豫備たる事とし奉天よりは武器彈藥を戰線に輸送せん事を主張したので、張學良氏は戰線各首腦者に對し露軍の國境侵入を防止する外決して挑戰的態度に出づべからずと

訓電を發したが、此の會議の結果支那側では左記の如く軍備の充實を圖る事となつたと

一、滿洲里に黑龍江六箇旅

一、ポクラニチナヤに吉林軍六個旅

而して前者は昂々溪より後者は哈爾賓經由續々戰線に出動し、奉天よりは廿一日彈藥四個列車飛行機一臺が發送された、尚滿洲里駐在の支那將校の家族に對しては哈爾賓へ引揚を電令した

長春の我軍隊警察愈よ戰時武裝す

支那軍動員に伴ひ人心動搖 萬一の場合に備ふ

【長春特電二十二日發】長春駐屯の吉林軍步兵五十團は二十二日の…吉林駐屯軍が出動し長春…これ等支那兵移動のため…度に動搖してゐるが無…

邦商滯貨夥しく倒產者續出せん

外交團、東鐵に警告

【ハルビン二十一日發】東西…封鎖されて既に五日、ポクラニチナヤ國境に停滯しつゝある浦…け邦人貿易商の貨物既に六百…達しハルビンでは銀行の取付…等起り財界に空前の恐慌を來…

東鐵露人從業員けさ一齊に罷業

哈市驛の荷繰り不能

【ハルビン特電二十二日發】ハルビン入屈東支貨物ホームのロシア人從業員（赤系約一千名）は…

東鐵問題は全然支那の責任

勞農側の武力解決は困難 永井長春領事の談

滿鐵を去るに臨み 正副兩總裁の挨拶

山本總裁

本日諸君の御來集を願ひましたのは今回の政變に依り私が不日現職を辭退致す決意を致しました事を諸君に申上げ併せて在任中諸君が不省私に對し御與へ下さつた御信頼と御精勵とに對し深厚なる感謝の意を表したい微意からであります、御別れに臨みまして私は茲に過る二箇年間の諸君並に吾々の努力の跡を顧み且將來に對する私の希望を述べて惜別の辭としたいと思ふのであります

實務化經濟化

現下の日本の經濟的行詰りと、社會的不安とを救濟するものは滿蒙の產業的開發の他なく、而も此大事業の根幹を爲すものは我が滿鐵であるとは、私の久しき確信でありましたので私は應分の覺悟と期待とを持つて赴任致した次第であります、然るに實際に就て親しく社業を見るに及んで私は遺憾乍ら、我が滿鐵の營業振りが所謂半官半民式で甚だ放漫であり、社員諸君の氣分も亦少らず弛緩せることを發見致しましたので、就任勞頭先づ實務化經濟化の大方針を掲げ、昭和三年度の豫算に對しては合計六百萬圓といふ大削減を斷行して、諸君の反省を求めたやうな次第でありました、然るに定に愉快極まることには思ひ切つた私の大斧鉞に對して、諸君はその意の有る處を十分に諒とされて冗費の節約と能率の增進とに努力致されましたので、其結果は同年度末の決算に於て撫順の四百三十萬圓、鞍山の二百萬圓を筆頭として或は原價の引下或は生產の增加等に依り、實に一千萬圓以上といふ實質的利益を齎らすに至つたのであります、之等より松岡副總裁以下幹部諸氏の善策と指導とし宜しきを得たるに依ることは勿論でありますが、同時に全社員諸君が私の方針に對して完全なる諒解の下に誠意を以て努力を致されたる賜であります、然し私の觀る所では多くの不合理と改善の餘地が有る樣に思はれますので、諸君が實務化經濟化の主義を一層徹底されむことを私は特に希望致す次第であります

事業整理成績

我國經濟界の近狀は全く萎微不振の極に達して居るのでありますが其根本原因は連年約一億五千萬圓…

三大工業計畫

港灣海運事業

鐵道敷設計畫

社員待遇改善

滿蒙權益保持

松岡副總裁

メ總領事はまだ引き揚げず

依然總領事館に監禁

戰債批准案佛下院通過

條件を附して

樺山氏、總督拒絕事情

藩派分裂を慮る

正副總裁隨行者

滿鐵正副總裁けふの動靜

電氣協會の創立準備

二十日打合せ

大觀小觀

天氣豫報

各地の溫度

滿鐵正副總裁から社員へ辭任挨拶
社員を代表して貝瀬氏が答辭 けふ社員倶樂部で

山本、松岡滿鐵正副兩總裁の退任挨拶は廿二日午前十時より社員倶樂部に於て行はれた、千餘名の本社々員參集して大ホールの階上、階下を埋め

別項 の如き兩總裁より告別の挨拶あり、これに對し最古參社員の技術審査委員長貝瀬謹吾氏が社員を代表して登壇左の如き答辭を述べるところがあつた

本日は近く御退任の故を以て誠に御鄭重、懇篤なる御挨拶並びに社業の前途に對する詳細なる御説明を賜はりまして吾等一同誠に感激に堪えない次第であります、回顧しますれば一昨年の昨日總裁は就任せられ越へて八月上旬恰も新裝なれる協和會館に兩總裁をお迎へして新任の御挨拶を承つたのでありますが

爾來 約二年の間に社の業績は異常な向上、進展を見るに至りました、各種の遠大なる國策的事業計畫施設等何れもそれぐ緒に就き若くは着手されんとして居り滿鐵創業以來未だ曾て見ざる盛觀を呈するに至りましたのは之れ偏に日清戰爭當時より滿蒙に對して深き蘊蓄と經綸を抱懐せらるゝ山本總裁、二十年前に關東廳に奉職されつゝあつた松岡副總裁等の御努力によるのでありまして

中央 政界の變移により今滿鐵より退任されることは吾々の衷心より痛惜に堪えない恨事であります社の事業計畫等につき兎角の批評や中央政府の阻害説等も傳へられてありますが吾等は只一意專心協力一致して益々社運興隆の爲めに奮鬪する決心でありまして茲に此の事を兩總裁の前に誓ふと共に併せて邦家のため今後共滿蒙開發のため中央政府に於て彌々益々御盡力御援助賜はらんことを切にお願ひして御挨拶に代へます

立食 右終つて山本總裁以下の席に就き保々地方部長は正、副兩總裁の健康を祝すべく盃を捧げて壇上に起ち兩總裁萬歳三唱の音頭をとり宴に移つたが場内は感激に滿ち同十一時散會

戰ひを眼前にして五校健兒の勢揃ひ
明朝清連の撫順軍を最後に滿洲豫選愈よ迫る

一般ファンに[illegible]全國大會滿洲豫選も遂に餘す處二日の後に迫つた純眞可[illegible]血の努力の決算される時機は來た明朝清連の撫順中學[illegible]ひをする、評判の青島勝つか、新進の安東撫順か、歷[illegible]中か、戰ひの幕は既に切つて落されたも同樣である。[illegible]會議を開き其の取組を決する事になつてゐる。尚青島[illegible]ラウンドにて、奉天軍は同じく一時より大連商業グラ[illegible]三時より商業グラウンドにて何れも練習する筈である

全力を擧げ最後まで戰ふ
細川奉天軍部長談

[illegible]がつたり又は試合負けをして大變と思ひまして出來るだけ[illegible]ームの數を多くし試合度胸をつける事に努力いたしました、[illegible]チは工大の先輩と滿鐵の田[illegible]氏に御願ひし内的方面にも着[illegible]と自信を固めて行きました、[illegible]ちらでのベンチコーチは滿鐵伊藤氏に御願ひしたいと思つてゐますが何れにしましても中[illegible]選手の名譽と誇りをけがさぬ[illegible]に一致協力最後迄ベストを盡[illegible]て戰ひます

をしたいと思つてゐます、中學の選手は一體に出來不出來が多い樣ですし一度混亂に陷ると大變なことになつてしまいますから實力だけで勝てない點もありまた戰ふ氣分も非常に試合を左右しますから元氣一杯に戰ひませう

正々堂々と力いつぱいに
柏原安東軍部長談

[illegible]そう闘ふ考えでゐます、青島中[illegible]は可なり自信があるやうです[illegible]最初の大試合ですし選手が[illegible]がつてくれねばいゝがそれも[illegible]心配の種です、今日グラウン[illegible]が使用出來れば三時からグラ[illegible]ンドに馴れる上から輕い練習[illegible]

關大對實業第一回戰
降雨のため廿三日に延期

悲憂嘆悶する受難の廢帝
淸朝歷代の聖像を壽皇殿から掠奪す

【天津特信】混濁の時世の浪は次から次と宣統廢帝の身邊に渦卷いて悲歎憂愁の袖の乾くひまとては無い、北京脱出、張園の佗住居、陸邸に立退き、東陵の發掘に今又壽皇殿暴狀と重なる災厄に憂悶の日を續け帝位の末裔に生れた事が恨めしき種となつた

◇

壽皇殿は淸朝歷代の聖像が祀られた殿堂であり淸室自ら管理する聖像であるが最近故宮博物院を圍る無賴漢が聖像を奪つて私腹を肥す事を考へ六月十九日先づ小手調を試みたが管理役の張威和が死を賭して之を妨げたので目的を達せなんだ

◇

然るに今月六日再び博物院の名で數十名の無賴漢を派し門を叩き破つて張某を威嚇し聖像廿五軸を手始めに合計百四十九軸を悉く强奪し何れにか持去つた淸室關係者は事の經過を宣統帝に報告すると共に南京政府や國總指揮に通告し其返還方を嘆願して居るが廢帝は時世とは謂へ意外の出來事に悲嘆に暮れて居るとの事である

抜き打ちから博徒大亂鬪
飮酒して口論の果て 今曉逢廓八千代樓で

二十二日午前二時ごろ大連逢坂町三七貸座敷八千代樓において博徒等が飮酒口論の上互ひに日本刀を引き抜き

劍光 閃々渡り合つて亂鬪した

博徒は逢坂町一七一無職下村淸(三〇)同一八五無職坂井久一郎(二八)同一五六無職相本淸二(二六)同一七八無職高橋豐市(三六)同小林利次(二六)同西光淸司(三七)同有原政吉(二五)ほか四人で亂鬪は同樓の表二階散財部屋において行はれた

即ち右六人は二十一日午後十一時三十分ごろ登樓し藝妓梅奴、濱勇、かるた、福松の四名を侍らし飮酒中、最初より仲居木村まさ子を足蹴にしたり、花瓶を擲したりして

亂暴 を働き、そのうち坂井と下村との間に賭博並に藝妓の事より意見の衝突を來し、互ひに口論し格鬪もし兼ねまじき形勢となつたので居合せた一同の者が仲裁に入り一時和解したが、激憤の餘り胸中治まらず坂井、下村ともに席を蹴つて自宅に歸り用意の日本刀を持つて再び歸樓し坂井は右日本刀を懷中に呑んで着席し、下村は隣室に置いて着席、更らに平靜を裝ふて飮酒雜談中

血相を變へた坂井が下村に對し「まだ酒を喰らふか」と突然立ち上り樣下村を蹴倒したので、下村も隣室に置いた日本刀を持ち來り

決鬪 せんとしたのに對し左手を伸ばし「やるか?」と力み返つた處を下村は拔く手も見せず拔打ちに坂井の左手甲から指三本を斬り落した爲め、血に狂つた坂井は制止する有原を斬り倒さんとして更に下村と渡り合ひ火花を散らして渡り合つたが、亂鬪中急報に接して驅け付けた逢坂町派出所詰諸方巡査に制止され、更に坂井のため斬りかゝられ憤慨して自宅に戻り日本刀を持つて驅け付けた有原も應援の三村、曾我兩巡査のため制止された

この亂鬪で坂井は

左指 三本を切斷、頭部左面と右手の二ケ所に斬り付けられ、下村は左頭、右手二ケ所左手肘一ケ所を斬り捲くられ坂井は唐澤病院下村は堀江病院に收容應急手當を施された、現場は鮮血四方に飛び散り悽慘を極めてゐるが目下關係者相本、高橋、小林、西光並に當時居合せた妲原内縁の妻田中キクヱおよび上野キト等について取調中

國境閉鎖で、郵便物遲延

露支國境閉鎖の爲西伯利經由郵便物の遞送が不能となつたので我遞信省から露國郵政廳へ對し敦賀浦鹽線に依り本便發着郵便物遞送方交渉したところ二十日露國から承諾と共に歐洲方面から送付するものも同樣取扱ふ旨回答があつたので二十一日以後滿洲から出る亞細亞露西亞宛及本便郵便物は敦賀へ向け差立てられることゝなつた右の結果當管内發同便は五日乃至十日位遲着することゝなるわけである

撫順水田の水喧嘩
武裝苦力と鮮農の對峙

【撫順特電二十二日發】二十一日夜半山口文雄の指揮する拳銃所持の苦力百名は新屯部落鮮人經營の四百町歩の水田の生命とする水口を暴力を以て埋め鮮農數百名と山口側の苦力數百名と相峙し目下不穩の形勢を呈してゐる

自動車を乘入れ散歩人を脅かす
星ケ浦公園の取締り

星ケ浦遊園地は最近擴張され益々完備されて散歩人も多いが市内から自動車を飛ばして行く人が傍若無人に公園内に車を乘り廻し折角の漫歩の人等を心無くも追ひ散らし危險な事多く又是等は市中の主に上流紳士に多いので所轄署でも弱つて居るが、沙河口署では現在の處自動車を公園内にひき入れてはならぬと規定はないので取締る事も出來ないがホテル位迄の途なら兎に角海岸邊を自動車で乘廻す樣な事は一般の迷惑を考へて德義上遠慮して貰ひたいと語つてゐた

發動機船を救助曳航
けさ大連入港

廿二日早朝安東より入港の有利號は廿一日午前七時安東を出帆して約十時間を經過した後右舷三哩邊で一隻の發動汽船が海難救助信號をしてゐたので直に該船に近寄つた所同船は機關に故障を生じ運轉の自由を失ひたるに付き大連港迄曳航を賴むとの事で大連まで曳航して來た救助された船は大連市二葉町小野木孝治所有第二滿千丸である

遂に四十餘名は救助されず行方不明
新康號の遭難

山東角沖における郵船丁級船龍野丸と招商局の新康號の海難事件は濃霧時期における航海業者の危險を如實に物語るものとして一般よりその後の報道を待たれてゐるが支那汽船新康號は衝突と同時に瞬間にしてSOS電を發するひまもなく沈沒の厄にあつたもので、衝突と共に龍野丸は深い濃霧の中とつさの間にあらゆる方途を講じ乘組員百廿名、乘客四十名中百廿餘名を救助し、折柄驅けつけた大汽の天山丸と共に附近一帶を搜査に努めたがその後はその甲斐もなく殘りの四十餘名は遂に行方不明らしいと、尚大山丸は午後九時迄龍野丸は午後十一時半頃まで月光を唯一のたよりとして現狀檢査に涙ぐましい努力を拂つたものと想像される

龍野丸は神戸へ
遭難者を乘せ

衝突した龍野丸よりその後當地無電局への入報によると、午後十時「今迄の所百廿名救助の外は目下搜査中なるも濃霧の爲困難」とあり、次いで十時三十分發「共に救助作業に從事中なりし大汽天山丸は作業を打ち切つて目的地香港に向へり」と天山丸が現場を離れたのを報じ同じく十一時四十分「本船は今現場をはなれ百廿名を救助搭載して目的地神戸に向ふ」と全然救助のゝぞみを打捨てゝ現場を離れたと報した

荒木船長は細心な人
郵船出張所長談

郵船大連出張所長山口啓三氏は語る とんだ事をしたものです網の中の事ですから何とも解りませんが行方不明者の出たのは殘念です、龍野丸の荒木船長は細心な人ですから本船の方からしかけたなんて事は萬あるまいと思ひます、入電と共に會社でも救助手續を執つたんでしたがその必要なしとの事で取りやめました今朝も大汽、海務局、水上署を歷訪して挨拶を交して來た所です、現場を十時間以上も搜査したんですから、よくやつてくれたと思つてゐます

けさの豪雨
坪二斗八升三合餘 まだ多少は降る見込み

土用に入つて一入の蒸暑さ、二十二日朝から到頭降雨となり午前四時五十八分から豪雨となり同八時までに大連の降雨量は一五、五ミリ、坪當り二斗八升三合七勺で數日來の炎熱を洗ひ去り街路並木も生々と蘇へつたやうな涼氣を感ぜしめたが尚今日中には多少降雨を見る見込みだと觀測所では語る

西廣場で轢逃げ
毎日タクシー

二十一日午後十一時三十分ごろ大連播磨町一〇四毎日タクシー運轉助手福山直温(二三)は西廣場近江町入口において滿鐵グランド看視小村與三郎(六四)を轢き逃したが、西廣場派出所赤川巡査に發見され過失傷害被疑者として本署に引致された

取調べに對し本人は犬を轢いたと思つたが無免許のため後難を虞れて逃走したと自白してゐた

海へ!山へ! 溫泉へ! お忘れなく 講談倶樂部八月號を!

愛川村水田
水不足に苦む

愛川村水田試驗場五百町歩は水源地が一ケ所で水量に缺乏し本年の如き旱天のため稻は殆ど全部枯死するに至つたが、來年度は何とか水源の適地を發見して試掘を行ふと

岩手縣の大火

【盛岡二十一日發電】廿一日午前一時十分ごろ岩手縣東磐井郡興田村の豆腐商小山久四郎方より發火し、旱天に乾燥しきつて居た折柄とて火は直に燃え擴がり全部落五十戸の内四十一戸百十棟を燒き盡し漸く同三時三十分鎭火した原因損害目下取調べ中

女へ義俠心

福岡市石城町二丁目三九江崎留子(二)は豫て前住所大牟田警察より搜索手配中の者であるが二十二日市内大黑町五九京城旅館に大牟田市中能政雄(三)と妻マツヱと詐稱し宿泊中を小崗子署員に發見され目下同署に留置されて居るが留子は郷里に於いて出來た情夫から賣飛ばされんとするを逃れ身の振方を義俠的な前記中能に賴つて來たものであると

遼陽太子河刻々增水
氾濫を警戒

【遼陽特電二十二日發】遼陽附近は昨夜來大雨で滿鐵棉花試作場の調査によれば雨量七斗二升餘に達し太子河漸次增水しつゝあり、今朝九時約七尺を增し刻々增水しつゝあり、この上數尺增水する場合は附屬地に逆流氾濫の憂ひあり警察署、地方事務所では警戒中である

公衆電話破壞

市内大黑町八七番地にある公衆電話錢入口の金具が何者にか破壞されてゐるのを二十二日午前八時局員が發見小崗子署に屆出があつたが中の錢を竊取の目的からしいと

寺尾警部來任

關東廳警務局高等係より大連署高等係主任に榮轉した寺尾警部は二十二日午前十時五十五分着列車で來任した

地藏尊緣日

市内天神町常安寺にては來たる二十四日午後七時半より同寺境内新築延命子安地藏堂の落慶を兼ね緣日供養を營み福引の餘興があると

米國全勝
デ盃准決勝戰

【伯林二十一日發電】デヴィス、カツプインターゾーン獨逸對米國戰第三日は米國又復二勝し結局五對零で米國全勝した

チルデン(米) 六―一、六―四、六―一 プレン(獨)

ハンター(米) 六―三、一―六、六―四、四―六、六―一 モルデンハウア(獨)

◇……四階からの飛降り自殺で汚された朝鮮總督府では朝鮮神宮の宮永司典以下を招いて廳舍の中心である大ホールから自殺現場の中庭まで淨めの式を行つた【京城發】

◇……新潟縣生れ靑木昇(一)は兄弟喧嘩の末、四十圓を持出して長春に赴く途中厭世心を起し安奉線列車内で縊死を企て奉天署で保護【奉天發】

◇……早大野球團の天津に於ける試合日程は左の如くである 廿七日對十五聯隊▲廿八日對シビリアン▲三十日對日本軍▲二日對マリン▲三日對マリン 尚四日は北平に遠征し北京マリン軍と試合する【天津】

編物手藝研究會
けふから社會館で開催

對北滿商取引の信用狀發行を停止

鮮銀、正金、正隆等の各銀行が浦鹽方面の取引も杜絶

露支關係がます／＼險惡に進展せるに伴れ大連と北滿との商取引は日々危險に陷りつゝあつたが昨今哈爾賓との取引は遂に殆ど杜絶の狀態に立ち至つたので正金、鮮銀、正隆の各行では北滿への信用狀發行を停止し哈爾賓支店より該情報を受理してゐるが二十二日鮮銀當地支店に達した情報によれば國境の露支軍は未だ戰火を交えず局部的の小競合あるのみにて双方交戰の意氣に乏しく、目下の處戰爭をなすまでに至るまいと觀測される、然し何と云つても歐亞連絡鐵道の中斷は北滿經濟界に非常な影響を與え哈爾賓と浦鹽港との取引は兩三日前より全く杜絶し浦鹽港は火の消えた如き寂れを來して、暴動の誘發を憂慮されてゐる、なほ浦鹽經由で契約された輸出入荷物の輸送徑路の急變による打擊は相當甚大であると見られてゐる、しかし特產期も經過し一般財界は閑散期に入つてゐる際だから北滿財界への影響は豫想ほどのものはなかるべく、現に浦鹽港が寂れたといへど、これが爲め大連港に殷盛を移したかと云へば未だ其の現象なく、之に依つて見るに北滿財界への影響薄を物語るものであると云はれてゐる、しかし滿鐵線による南行貨物の增加は疑ふ餘地なきも結局、露支關係は今後の推移によつて漸次財界にその影響を現して來るであらう

取引閑散期で案外影響薄

武安鮮銀支配人談

右につき武安鮮銀支店長は語る

信用狀の發行は正金、正隆と共に數日前から停止したが哈爾賓支店からの情報によると露支戰爭も始りさうにないから今日までの經過では目立つて經濟界にの影響は現れぬであらう、しかし露支關係がこのまゝ秋の特產出廻期まで持越すことになれば滿洲財界は非常な打擊を免れぬがそれ迄には事件解決とまで行かなくとも政治問題と經濟問題とを切り離して交涉に入るであらうからこの懸念はなく樂觀してゐる

昭和製鋼所設置運動猛烈

安東側からも各方面に電請　新義州側に應援

【安東發】滿鐵計畫の昭和製鋼所の設置問題に就いては當初の豫定地であつた新義州府に於て全力を盡して百方奔走する所あり、目下加藤商議會頭上京して政府要路其の他各方面に對して運動中であるが安東側に於ても國家的見地から言ふも國境の繁榮策から見るも對岸の火災視すべき所にあらずとして商工會議所が中心となり曩に理事會の決議を以て加藤會頭宛應援の電報を發する所あつたが更にこ濱口首相外各大臣、山梨朝鮮總督、木下關東長官、山本滿鐵總裁、朝鮮總督府東京出張所、滿鐵東京支社長、日本商工會議所に宛左の電報を發した

昭和製鋼所は國防、經濟、運輸其他何れの點より觀るも新義州附近に設置せらるゝを以て妥當なるものと信じ切に之が實現を期待す右達成につき閣下の（又は貴下の）深甚なる御配慮を賜はらむことを役員會の決議により電請す　安東商工會議所

滿洲の郵貯二千萬圓を突破

素晴しい增加振り　在邦人勤勉の左證

關東廳遞信局が、郵便貯金一千萬圓を目標として、積極的にその勸獎を開始したのは大正十年十月であつた、當時の現在高は僅かに六百五十萬圓に過ぎなかつたのであるが管內各局が奮勵して極力勸獎に努めた結果、大正十三年七月には早くも當初の目標たる一千萬圓を突破したるのみならず、その後も益々增加するの趨勢を辿るに至つたのでこれに勢ひを得た遞信局は更に二千萬圓を目標として邁進し、五年の歲月を經て本月廿日遂に二千萬圓を突破し二百萬一千六十三圓となつた、尙增加すべき狀勢にある、これは一般經濟界の影響を受けた爲でもあるには相違ないが在滿庶民階級の力強い根柢ある生活を象徵するものである

青島三燐寸會社遂に閉鎖

【青島廿一日發電】華祥燐寸會社では解雇工人の煽動で多數の支那人殺到し支那工人頭に瀕死の重傷を加へる暴行ありしため華祥青島山東三燐寸會社共ロツクアウトす

和平解決見越で銀價反落す

銀塊安爲替高も響く

大連錢鈔市場における銀價は北滿における露支關係の惡化を材料として、十八日後場以來昂騰步調を續け最近の安値より約三圓擱みの上伸びを示したが、二十二日前場海外材料としては倫敦銀塊八分の一安、紐育八分の三安、孟買十六分の一安を入れ、一方爲替は米日八分の一高、日米十六分の三高と銀安材料を報じ上海標金亦一兩七高に寄り昂騰步調を辿りて止め四兩二高の三百八十六兩四と弃騰を示し、更に露支關係も南方政府は和平解決を希望しゐるとの情報あり、戰爭も小競合に止まりて、これ以上擴大せずとの觀測が行はれるに至つたので、當市場の人氣は俄に軟化し二十二日前場地場鈔票は近遠期共前日より一圓二十五錢安に寄り引値は九十一圓八十五錢と一圓五十錢方の暴落を演じた

商議の役員會

常議員改選　問題其他

大連商工會議所は二十三日午後三時から役員會を開催左の事項の附議する

一、朝鮮沿岸航路標識增設請願に關する事項承認の件

二、關東州沿岸航路標識增設改良に關し請願の件

三、定期總會提出議案に關する件

（イ）自昭和四年三月一日至同年六月三十日事務報告

（ロ）昭和三年度收支決算報告

（ハ）同財產目錄報

（ニ）常議員四十名任期滿了改選並に特別常議員囑託

大豆混保案ようやく解決

上場案も決定す　けふ邊り關東廳から認可

滿鐵と特產商側との間に交涉中であつた大豆混合保管規定改正案は漸く左の如く決定し二十日午後より重要物產組合、油房聯合會、取引人組合、各代表者、森田副所長及び滿鐵側代表早川各氏打連れて關東廳訪問右の認可方を申請したが今日中に認可される模樣である、尙第一、第二、第三各項は來月十日頃より第四項以下は新豆の出廻り期より實施されると

大豆混合保管規程改正案

一、現行別扱手數料の徵收を休止する事

二、滿鐵社線の荷繰料三十二噸八分を三十三噸とし計算する事

三、倉庫料は現在免除を爲され居る七日間の外混保規程に依る出庫不能期間を加算するものを免除する事

四、大豆の等級は特等の外一、二、三、四等の五種とし水分率は二等以上を十三%以內三等を十四%以內を四等を十五%以內とし用捨率なしとの精神により檢査する事

五、麻袋の等級を新、舊の二種とし舊麻袋は現行の舊二等迄を合格せしむる事

六、理學的性質の外特、一、二等に限り色澤拜見を品質決定の項目に加へ其不良なるものは等級に於て一格低下する事

七、保管中の自然減量責任限度
特、一、二、三等品　千分の十　千分の十五
四等品　千分の十五　千分の二十五

八、保管期間
特、一、二等品　六個月
三、四等品　四個月

九、本年度暫定見本決定標準
理學的性質による包容範圍は南下大豆の九十八%とし大體特等五%一等四十五%二等三十%四等八%迄を收容し不合格二%とする事

一〇、新混保規程による大豆の受寄及其麻袋に關しては昭和四年度產大豆より實施し昭和三年產大豆及其麻袋は舊規程による事

尙之に關連して新混保大豆上場案も左の如く決定した

新混保大豆上場案

一、上場の時期
新混保大豆は昭和四年十二月末日限以後の先物取引に本標準品として適用する事

二、銘柄及代用品
大豆（一等品標準）特等品及二等品代用
普通大豆（三等品標準）四等品代用

三、代用品の格差
大豆　一等品に對し特等品五錢格上二等品五錢格下
普通大豆　三等品に對し四等品五錢格下
右格差は一箇年を通したるものとす

四、麻袋の格差
新麻袋を以て標準とし舊麻袋は新麻袋に對し一枚に付金十錢格下とす

五、新舊混保大豆代用受渡關係
九月限　舊混保大豆標準　新混保大豆代用
十月限　同
十一月限　同
十二月限　新混保大豆標準　舊混保大豆代用
一月限　同
二月限以後は新混保大豆のみとし舊混保大豆を代用せず

六、新舊混保大豆の格差
新舊混保大豆の標準品（新混保大豆一等品）は舊混保大豆の標準品（舊混保大豆一等品）と同格とす
新混保大豆の格差は新規程により舊混保大豆の格差は舊規程による

七、立會時間及受渡期日
大豆及普通大豆は同時立會
受渡期日は兩者とも每月末日

滿銀重役會

今期決算附議

滿洲銀行では來る廿五日重役會を開き株主總會に附議すべき今期收支決算及び利益金處分案に關する審議を行ふ筈であるが、今期利益は前期繰越金を合せて三十萬圓前後を計上する模樣である、而して株主總會は八月中旬開催の豫定であると

團體めぐり

興味のある共盛會の存在

眞面目な團體的行動

食糧品同業組合（下）

滿鐵消費組合の撤廢運動は市中側商人の年中行事となり、小賣商の疲弊を消費組合の故にして泣き事を並べ、消費組合さへ撤廢さるれば直に復活するやうな極論を吐いて、歷代滿鐵社長に種々運動が試みられたものだ、そこで滿鐵はこの猛運動の緩和策として社員の傳票買制度を市中一般小賣商にまで普及擴張さすことにした、この時各同業組合を網羅した「更新會」といふのが生れ、更新會々員のみに滿鐵の傳票買制度の所謂恩典を附與することにし、さしもの撤廢運動も爾來大いに緩和された。

◇

更新會の一分子である食料雜貨商はこれを機會に組合再組織の議が擡頭し、昭和三年一月米山顯造君を組合長に「大連食料品同業組合」の創立となり、會員八十餘名を抱擁する大團體となつたが、組合として成すべき仕事は相變らず實行されてゐず今日なほ有名無實の存在に過ぎぬ、しかし茲に紹介して置きたいのは組合員十數名によつて組織されてゐる共盛會の存在である、組合の中に共盛會あるは屋上屋を架するの觀あるが組合によつて成されない團體的行動をこの小會合によつて眞面目に實行しつゝある點は一寸見上たものだ。

◇

共盛會はアメリカで日本に對する移民法案が通過したので、朝野をあげて米國の非を鳴らした大正十五年七月、國辱記念として大連神社で發會式を擧げ、意義深いそのスタートを切つて生れたものだ、會の事業として仕入改善、共同仕入、販賣紹介、仕入斡旋、委託販賣の數目を掲げ、會員は每日賣揚中より一圓を事業基金として積立て、今日既に二萬數千圓に達したので目的の事業遂行のため澤田治三郎君等が中心に、懸命の努力を續けてゐる。

◇

さて食料品店は配達の面倒がある代り、商賣がきれいで商品の傷みがなくてうんと儲けさうな商賣、だが實際は仲々さうは「問屋が卸さぬ」そうで賣れる商品は舶來品でも國產品でも商標の通つたものばかり、從つて口錢が薄い、つまり一錢二錢を爭つて客寄せの看板に使ふだけで、結局食料品店も薄利多賣の平凡主義に努力する外はない、近ごろ內地食料見本市が來るようになつてから罐詰類が店頭を賑合せてゐる、大連に移入される罐詰製造の分布狀態はといへば、牛肉が讃[illegible]島と四國の宇和島。靑豆、筍が九州と江州。福神漬の關東及名古屋。味淋漬の山形。奈良漬の大阪。蛤の九州、伊勢、千葉。鯨の北海道、仙臺。白魚の朝鮮と松江。鰻の朝鮮、上海、青島その他一般に知られたのでは北洋の鮭、鱒。東京の海苔。鎌倉のハム。京都廣島の松茸。信州のジヤム。臺灣のパインアツプル等。罐詰は中見ずの商賣だからその場限りの金儲けにいゝ加減の商標を張つて誤魔化したものと、飽くまで中味を精選して信用大事に自家商標の擴張に努めるのと兩極端あるが近來前者のいかゞはしいのが多くなつて大連の食料品店でもこれ等好ろしからざる罐詰の驅逐にせつせと骨折つてゐるさうだ。【寫眞は米山組合長】

黄塵

◇…滿鐵社員に對する山本總裁の告辭は果して如何なる感銘を與へたか。

◇…就任當初から三大方針を定めて着々其實行を期し、中にも所謂三大工業の國策的計畫は何んとしても山本氏でなくては出來ない藝當。

◇…その事業的巨腕の冴え、多年の經驗と他の追隨を許さぬ確信ある遣り方。

◇…而もその恐ろしい許りの蘊蓄とエネルギーを傾けつくすに、二ケ年の歲月は餘りに短過ぎたとの歎をなすもの、豈獨り黄塵子のみではあるまい。

◇…五品派株主の合併問題聲明は聊か六菖十菊の感あるを免れない。

◇…但し「反對者少數で否決は亂暴」との言分は成程是認出來ぬでもない。

市況

特產

銀價の反落に各品强調

休日明け今朝の定期は銀價を眺めて概して各品共に强張り、高粱は折柄山東向けの買ひに先物も赤昂騰を呈した大豆は相變らず出來不申

◇定期前場

◇現物前場

錢鈔

前場（暴落）

◇定期取引（單位）

◇現物取引（單位）

商品

前場

株式

內地强含み五品も底堅い

市場電報

上海爲替情報

爲替相場

平安異香 (57)

葉多默太郎作
中一彌畫

陷穽(九)

「をかしいな」

宮部三郎春光は目を開けて輿の中を見廻した。

檢非違使廳から勸修寺邸へ半時ばかりの道程である、それにもう一時も歩いてゐるだらうと思ふのに未だ着かない。しかも輿の走はかなり早い——。

「變だなア」

手を伸ばして、物見窓の簾を揚て——と思つたのだが、その簾が動かない、釘付けになつたやうに動かないばかりか、その簾の外側に何か板のやうなものがピタリとあてがはれてゐるのだつた。

「をかしい、變だ、こいつは變だ」

何時の間にこんな事をせられたのか春光は知らない。外が見えないのは夕闇の暗さのためだと思つてゐたのだが——。

「おい、待て！輿舁、待て！」

だが輿舁は應えない。

その時、山路にでもかゝつたらしく、輿が前上りに傾いた。

「待て！輿舁、待て！」

春光は輿の中でぢだんだを踏んだ。と、

「チエツ、やかましい！」

叩き返すやうな聲が、すぐ窓の外で叫んだ。

使廳を出る時には、確に輿舁二人きりだつた筈だが、これでは他に幾人か附人がゐるらしいのだ。窓の外の聲は續いて罵つた。

「氣の行くまで吼えろ！喚け！泣け！だが此處は山ん中だ、餘り吼えがひはねえだらうよ」

「何處へ、何處へやるんだ！」

「行く所へ行くのさ」

「東山の勸修寺邸——」

「テヘ、何を云つてやがるんだ」

春光はもう口を利かなかつた。ぐつたりと輿の背へ寄りかゝつて吐息をついた。

救はれたと思つたのは束の間だつた。春光は救はれたのではなかつた。更にたくまれた術中に陷つたのだ。殘忍無慚な勸修寺師輔の、行先は死か——。

「どうともなれ、墜ちる所まで墜ちるのだ」

自棄なをかしさが靠上て來た春光の面に、こはばつた笑ひが泛んだ。肌は惡夢に襲はれたやうな汗にぐつしより濡れてゐる。

それからどの位の時間が經つてゐたか春光は知らない、輿が下りて引出された所は、山中の谷間のやうな所だつた。

昨日の雪が殘つてゐて、たわゝになつた枝からぼたりと落ちる所に、怪しい丸太の掘建小屋があつて、赤い火が圍爐裏に燃えてゐる中に五六人、山男のやうなのがゐて此方を見た。

此方は春光の他に、輿舁二人と使廳の下役人らしい三人との六人だつた。下役人の一人は松明を提げてゐる、それが先になつて、ずつと小屋へ入つて行くと、小屋の男が急にゐづまいを直して、

「旦那、又ですかい？」

春光にもさうと聽きとれた。がそれには應えず、默つて圍爐裏の所へ上つて行つた下役人が、何か云つて笑つたのは、聲が低くて聞きとれなかつた。

「さあ、入るんだ」

二人の下役人に背を突かれて、春光は、小屋へのめりこんだ。とそれをぢろりと見て山男

「いゝ男だね、旦那、若いぢやねエか」

「さうよ。大學寮の學生さんだ」

「なるほど、さうらしい——こつちへ上んな學生さん、寒いだらう」

で、微笑んで春光は上りこんだ。そして火に手を伸ばすと、

「脚を伸ばしてゆつくりしなよ」

山男が、案外人の好ささうな笑ひを見せて云ふのだつた。で、云ひなりになつて脚を伸ばすと、左手にゐた山男が春光の足頸へ手を伸ばす。何か持つてゐるなと思つた時に、カチリと異樣な音がして、それが足頸に喰ひこんだ。

足錠が、二つの足を一つに締めてしまつたのだつた。

春光はその男の顔を振向いて、口を歪めて笑つた。男も笑ふ。

「ぢや頼んだぞ。あつい雜炊など食はしてやつてくれ」

下役人三人は、間もなく輿舁を連れて出て行つた。

それから、雜炊を食はされて寢かされた春光、板屋根の裂け目から、深い空に明滅する一つの星を見ながら、たゞ愛人幸の上に思ひをはせた。

その時分、幸は、壁の隅に身を縮めて、小雀のやうに顫えてゐた

映畫と演藝

東京行進曲 愈々上映 けふから浪速館

小唄東京行進曲の物凄い流行に伴つて久しい間ファンから期待されてゐた雜誌キング連載の菊池寛原作の小説「東京行進曲」を溝口監督が映畫「日本橋」に次いで日活現代劇部オールスターキヤストで製作した映畫「日本橋」は內地の續映に妨げられて延び〳〵になつてゐたが突如今廿二日から浪速館に上映されることになつた同映畫は最初トーキーとして製作される筈であつたのを變更した代りに日本映畫に珍しい自然色のオーソカラーが園遊會の場面に挿入され、東京方面のロケーションを充分に取入れて大東京のジヤズを伴奏に戀愛舞曲が織り出される賑やかな映畫である

◇◇東京行進曲◇◇ 夏川靜江の藝者と小松勇の佐久間雄吉

滿洲日報

赤ちゃんの夏の健康增進秘訣

▲早産の双生兒を健康に育てた母の實驗（成功した母の）
▲六百卅匁の虛弱兒を煉乳で丈夫に育てた經驗
▲遺傳黴毒の弱い子を健康に育てた實驗
▲母乳の無い赤坊を丈夫に育てた苦心

弱い赤坊を健康にした母の育兒實驗

▲疫痢に罹つた三人の子供を全快させた看護法（黑田夫人）
▲手製の脱腸帶で愛兒の脱腸を全快させた經驗（尾花夫人）
▲小兒の虫氣を手輕に治す民間療法の秘法公開（久木田學士）

竹内博士

町娘から伯爵夫人に……？　小林孝子の懺悔

田中光顯伯との關係の告白

小林孝子の名は餘りにも名高いが、彼女と前宮内大臣伯爵田中光顯氏との結婚問題の眞相を知る人は少い。十九歲の町娘が一躍六十五歲の老伯爵の夫人となられた當時の眞相と共に、その後の數奇を極めた運命を自ら懺悔告白した此の大讀物を、八月號の特別記事として發表しました。

▲七つの難症を治した倉田百三氏の治病體驗

七つの難症――肺結核、腰部カリエス、肋骨カリエス、結核性痔瘻、結核性丸炎、結核性中耳炎、結核性……これだけの難症を藥も飲まず不思議に治した倉田百三氏の體驗は、病床に呻吟する方々に、ぜひ讀んで頂きたいものであります。

▲神經衰弱の必ず治る新療法

神經衰弱ほど治りにくい病氣はないと信じられてゐます。けれども「主婦之友」に發表された中村古峽先生の新療法を試みた人は、必ずケロリと治つてゐます。藥を服まずとも轉地をせずとも、神經衰弱は手輕に治ります。

▲八百圓で建てた夏の簡易別莊

小さな簡易別莊が近年非常に流行してゐます。それで八百圓から千八百圓までの僅かの金で建てた理想的の簡易別莊を、誌上に發表いたしました。

良人の品行問題で奥様ばかりの座談會

四月號に發表した良人ばかりの座談會に對して、奥様ばかりの座談會を開きました。出席の奥様方はいづれも知名の方ばかり、それに内容は良人の品行問題であります。家庭にとりて由々しき大問題です。特に家庭の奥様方に御覽を願ひます。

（今井代議士夫人）今井邦子
（正木不如丘博士夫人）正木豊子
（三上於菟吉氏夫人）長谷川時雨
（三越美容主任）小口みち子
（新妻莞氏夫人）新妻伊都子
（木谷蓬吟氏夫人）木谷千種
（東京女子醫專校長）吉岡彌生
（水島爾保布氏夫人）水島幸子
（吉井勇伯夫人）吉井德子
（さし繪）田中比左良

▲奥様を惱ますカフエーの繁昌
▲家庭婦人を壓倒する職業婦人
▲人妻に脅威を與ふる女給其他
▲到る所に網を張る藝者の魔力

脊の低い婦人が高くなつた秘法

四尺八寸しかなかつた脊の低い十九の處女が一年餘りで五尺一寸に伸びた方法があります。また四尺七寸餘りしかなかつた脊の低い方が二年ほどで五尺一分となつた方法もあります。脊の低い方は美容の何割かを損じます。ぜひ試みて脊を高くしてくださいませ。

亡き幼兒を靈界に探ぬる記

お盆が來れば、『亡き子はどうなつたらう』と、子を喪へる母は必ず懐に思ひ浮べます。日本國中の何百何千萬といふ多くの幼き子を喪へるお母様方のために、靈界放送で名高き三浦信子女史が此の喜びの便りを傳へました。『子は靈界に生きてをる』これが靈界からの報告です。詳しき記事は讀むに從つて息もつまるほどの面白さです。

農林省から奬勵金のある新副業緬羊の飼方

副業のうちでこれぐらゐ確實で有利なものはありますまい。緬羊一頭を買へば政府から五圓づつ飼育奬勵金が下附されます。尚ほその上に緬羊から刈りとつた毛を賣れば一ポンドにつき五十錢づつの奬勵金が貰へます。また農林省から種緬羊を貸してもくれます。ここ十年や廿年斷じて不況を見ることのないのがこの副業であります。飼養方法一切を誌上に發表しました。

ソバカスの新しい療法

姙娠日を正確に知つた婦人の新実驗

むづかしい學理でもなければ數字の羅列でもありません。誰でも『自分の姙娠する日は毎月何日だ』といふことがわかります。全く二人の奥様方の貴重な實驗です。これを御覽になれば姙娠自由自在とはこのことでありませう。

事實物語　女優情史（石上欣哉）
探偵小說　青い眼の女（ルブラン）
諧謔小說　夫婦百面相（佐々木邦）
長篇小說　火刑（三上於菟吉）
毎號連載　婦人訓話（德富蘇峯）

▲罪の子を產む娘の煩悶
▲肺病患者の新しい療法
▲實際に見た幽靈と妖怪
▲廢物利用の新しい染物
▲夏物の和洋洗濯法實習
▲素的に美味い夏の料理
▲名家の夏の朝食しらべ

コシケの簡易な民間療法

金五拾錢　送料三錢

主婦之友社　東京神田駿河臺　（振替一八〇番）

流行型の子供服はモリタヤへ
小賣卸　大連市イワキ町　洋服店　モリタヤ　電話三四九六番

池田小兒科專門醫院
大連市西廣場西入る電車通
池田嘉一郎
電話六三六五番

日英米佛の四ケ國に支那側調停を依賴せん

けふ再び汪駐日支那公使が幣原外相を訪れる

【東京二十二日發電】支那は露支問題につき國際聯盟に訴へ仲裁を求めると共に一方日、英、米、佛に對し調停を依賴せんとする意向で、駐日の汪榮寶公使は二十三日午前十時外務省に幣原外相を訪ひ今日までの露支關係の經過を說明したうへ好意的助力を求むるやも知れぬと

我外務當局が積極的に露支間の和平に努力

既に成案を得時期を待つ 米國の奔走はまだ眞僞不明

【東京特電二十二日發】勞農の態度が意外に强硬であり且つ世界の輿論が何れも支那側の暴擧を非難する有樣であるため狼狽した國民政府は、米國々務卿の和平勸告說を渡りに舟と喜んで之により東鐵問題解決を圖らんとしてゐる模樣であるが、和平勸告に關しては我外務當局では未だ出淵大使よりの公報に接せず 一、スチムソン氏が日英佛の駐米大使に事前に諒解を求めたとすれば出淵大使より本省に請訓ある筈である 二、米國が單獨で之を行ふたとするも既に出淵大使より右に關し何等かの入電ある筈 三、日本でも未だ態度を決するに必要なる材料がないのに米國が同問題に關し日本以上の情報を得てゐるとは信ぜられず米國がその正否に自信なく輕々に斯の如き態度に出るとは考へられぬ等の理由より未だその眞僞を疑つてゐるが、萬一事實としても單に人道的立場より通り一遍の和平勸告を試みるのみで

政治的

には實際的効果を豫想するには足りない、殊にロシアが奉露協定に從ひ東鐵に關する問題は露支兩國のみに於てこれを解決せんとし、第三國の干涉を排斥せんとの態度を持してゐる以上、これが問題解決の鍵となるとは考へられない事情にある、次に支那は同問題を國際聯盟に訴へんとする意嚮を仄めかしてゐるが、その筋への情報によれば聯盟に於ても露支問題に容喙するも、その成否は全く豫期するを得ずとし取扱ひを

避けん

との說が濃厚であるのでこれまた期待するには足らぬ模樣である、然し露支兩國の現在の情況では第三國の調停なき限り、その眞意に於て和平解決を希望するも意思交換の方法なく睨み合持續の外なき事情にあるのでこの間に立つて調停の實を擧げ得るは本問題に直接利害關係を有し政治的實力を有する日本を措いて外になく列强も專ら日本に期待してゐる之に對し外務當局では既に

成案を

有し實行の時期を待つてゐるわけであるが、解決の見込立たぬうちに輕々に乘り出すことを避け事態の推移を注視してゐるが、時局發展の如何によつては東洋平和確保のため、たとへ兩國の依賴なくとも積極的の立場に立ち平和解決のため努力すべく充分なる用意を有してゐる

軍事は自衛範圍に止め國際聯盟の裁斷を仰ぐ

國民政府最高會議にて決定

【上海廿二日發電】國民政府は廿一日王正廷氏も參加し最高對露會議を開き蔣介石、胡漢民、戴天仇、王正廷氏等意見交換の結果 一、軍事行動は自衛の範圍に止むること 二、露國の違約に就ては國際聯盟に提出し裁斷を仰ぐこと 而して若しロシアが聯盟不加入に藉口する時は聯盟規約十七條の規定に依據して適當なる處置を講ずることを列國に要求するに決した

北平外交團の信用回復に張學良氏努力す

東鐵回收の目的を公表せしめて

【奉天特電二十二日發】奉天側の東鐵回收は現實の問題にしてハルビン勞農總領事館襲擊事件以後のやりくちは其目的がそこにありしこと掩ふべからざる事實なるに拘らずロシア側が開戰をも辭せざる態度を示し來つたのと、國際間の氣受よからざるため遽に態度を替へ、張學良氏は二十一日王秘書長をして駐平奉天辦公處主任危道豐氏に對し左の意味の東鐵回收がその目的にあらざる旨を公表せしめ、北平外交團その他の信用回復に努め以て進退兩難の苦境を打開せんとしてゐる

東鐵に對する處置はロシヤ側幹部職員が奉露協定に違反し赤化宣傳をなせるため治安維持上萬止むを得ざるため行つたもので、傳へらるゝ如き東鐵完全回收の爲なりとの說は全く誤解に屬するものである

メリニコフ總領事らけふ愈よ引揚か

ロシア側東鐵從業員と共に

【ハルビン特電二十二日發】本國引揚を阻止されてゐたメリニコフ總領事、チルキン東支副理事長は一說によると支那側との諒解なり二十三日午後十八時三十分出發、それと同時に露國側東支從業員全部に對し引揚命令を發する筈であるがその結果として東支全線の列車運轉は全然不可能となるべく、これに應ずる支那側の對策は最も困難と見られてゐる

武裝解除し寛城子へ

要求を拒絕され

【長春特電二十二日發】吉林第七旅四十二團第一、二、三營兵千三百名は既報の通り二十、二十一兩日に亙つて吉長線長春驛に到着し寛城子まで滿鐵構內線使用を交涉中であつたが日本當局が嚴正中立を守り右要求を拒否したので二十二日武裝を解除し武器と兵とを別々に徒步にて寛城子驛に向ひ東鐵貨車六十一輛に積込み十二時完了

陸軍の異動決定

守備隊司令官には寺內中將

【東京廿二日發電】陸軍定期大異動の內決定を見る主なるもの左の如し

任陸軍大將（各通）
臺灣軍司令官 陸軍中將 菱刈 隆
東京警備司令官 同 岸本鹿太郎
第三師團長 同 安滿 欽一
近衛步兵第二旅團長 陸軍少將 篠田 次助
所澤飛行學校長 同 古谷 清
陸地測量部長 同 大村 齊
砲工學校工兵科長 同 松井 順
朝鮮軍參謀長 同 寺內 壽一
憲兵司令官 同 峰 幸松
兵器本廠附 同 井染 祿朗
陸軍大學校監事 同 多門 二郎
野戰重砲兵第四旅團長 同 石川 潔平
騎兵第四旅團長 同 服部 眞彥
騎兵監 同 森 壽
獨逸大使館附武官 同 大村 有隣
近衛師團司令部附 同 淺田 良逸
士官學校監事 同 厚木篤太郎

任陸軍中將（各通）
朝鮮軍司令官 大將 金谷 範三
補軍事參議官 參謀次長中將 南 次郎
補朝鮮軍司令官 近衛師團長 同 長谷川直敏
補東京警備司令官 教育總監部本部長 同 林 銑十郎
補近衛師團長 陸軍大學校長 同 荒木 貞夫
補第六師團長 陸軍省整備局長 同 松木 直亮
補第十四師團長 人事局長 同 川島 義之
補第十九師團長 第十一師團長 同 小泉 六一
補第三師團長 參謀本部附 同 松井 石根
補第十一師團長 參謀本部總務部長 同 岡本連一郎
補參謀次長 參謀本部第二部長 少將 二宮 治重
補參謀本部總務部長 支那公使館附武官 同 建川 美次
補參謀本部第二部長 參謀本部第四部長 同 林 桂
補兵器本廠附（陸軍省軍事調查委員長） 步兵第一旅團長 同 小川恒三郎
補參謀本部第四部長
補獨立守備隊司令官 中將 寺內 壽一
補第十六師團留守隊司令官 同 井染 祿朗
航空本部總務部長

補陸軍省整備局長 少將 小磯 國昭
補陸軍省人事局長 步兵第二旅團長 同 古莊 幹郎
補航空本部總務部長 航空本部附 同 小澤 寅吉
補砲兵第四旅團長 砲兵監部附 同 猪狩 亮介
補陸軍士官學校長 中將 林 仙之
補教育總監部總務部長 步兵第三十九旅團長 少將 中村孝太郎
補朝鮮軍參謀長 步兵第二十九旅團長 同 牛島 貞雄
補陸軍大學校監事 教育總監部第一課長 步兵大佐 西尾 壽造
任陸軍少將補步兵第卅九旅團長 第十師團參謀長 同 武藤 一彥
任陸軍少將補騎兵第四十四旅團長 參謀本部附 同 佐藤 三郎
任陸軍少將補支那公使館附武官 騎兵第一旅團長 少將 柳川 平助
補騎兵學校長 同 梅崎延太郎
補騎兵第一旅團長 陸軍省重砲課長 大佐 植村 東彥
任陸軍少將補技術本部第一部長 降事課長
任軍醫監補近衛師團軍醫部長 一等軍醫正 弘岡 道明
陸軍大學校教官 大佐 鈴木 美通
任陸軍少將補關東軍司令部附（特務機關長）
補陸軍大學校長 中將 多門 二郎
人事局補任課長 大佐 沖 直道
任陸軍少將補步兵第一旅團長 人事局恩賞課長 大佐 中村 濱作
補第十九旅團長 工兵第十六大隊長
任工兵大佐補鐵道第一聯隊長 工兵中佐 高品 庸彥
侍從武官 步兵大佐 川岸文三郎
補近衛步兵第四聯隊長 步兵第二十三聯隊長 步兵大佐 依田 四郎
補第四師團參謀長 第三師團參謀長 步兵大佐 谷 壽夫
補參謀本部課長

輜重兵監部附 少將 飯田恒次郎
補自動車學校長 輜重兵第一大隊長 輜重兵大佐 朝倉 章
任少將補輜重兵監部附 工兵學校長 少將 若山善太郎
補工兵監 豐豫要塞司令官 少將 本庄 庸三
補工科學校長 中將 篠田 次助
補臺灣守備隊司令官 佐世保要塞司令官 少將 高橋 [illegible]
補砲工學校工兵科長 化學研究所第一部長 少將 石井 [illegible]
補陸地測量部長 技術本部々員 工兵大佐 加藤 [illegible]
任少將補化學研究所第一部長 野戰重砲兵第三聯隊長 砲兵大佐 小野 [illegible]
任少將補豐豫要塞司令官 航空本部第一課長 航空兵大佐 堀 丈夫
任少將補下志津飛行學校教育部長 步兵第一聯隊長 步兵大佐 服部兵次郎
補臺灣軍參謀

し、二十二日午後三時出發ハルビンへ向ふ筈、尙旅長は齊純昌氏にて機關銃入門平射砲入門を有してゐる

エ前管理局長露都着

【モスコー二十一日發電】嚢に北滿より追放された東鐵管理局長エムジヤノフ氏外約百名の露國官公吏は本日モスコーに到着群衆は驛頭に於て熱誠なる歡呼を以て之を迎へた

ブハリン氏除名

【モスクワ二十一日發電】ブハリン氏は共產インターナショナル執行委員會幹部より除外されたる旨本日發表された

支那後方司令部哈市へ進出

形勢の重大に鑑みて

【長春特電二十二日發】東北邊防軍駐吉副司令公署は後方司令部として北滿にある前軍の指揮をしてゐるがいよいよ露支兩軍は何時火蓋を切らぬとも限らぬ重大な狀勢となつたので哈爾賓に進出するに決した、なほ張作相副司令は目下奉天滯在中なので參謀長熙洽氏が代理してゐるが同氏は留守司令として吉林に止まり新たに日本陸軍大學出の郭恩霖氏が參謀長に任命され哈爾賓に向ふと

北滿特產取引

【ハルビン特電二十二日發】廿二日特產大手筋は總て新規取引を中止し、又は手控えた、この原因は露支時局の前途豫知し難きと大洋暴落に伴ふ受渡し懸念にある、受渡し期日切迫せる約定品に關し國境占領說に動かされた內地筋より出荷差止め電報に接せる向は勘からず迷惑してゐる（ハルビン大洋）は中値六萬二千八百二元に暴落し

ことゝなつたが時節柄其辭任は頗る注目されてゐる

滿洲里の兩軍は一兩日中衝突か

赤軍精兵國境に到着

【長春特電二十二日發】當地支那側に達した情報によれば滿洲里陷落は誤報なるも廿日精銳なる赤軍騎兵三千騎は滿洲里國境に到着したので一兩日中には衝突を免れないと

ハルビン市街漸く危險狀態に

【ハルビン二十二日發電】東鐵東部線に於けるロシア鐵道從業員の罷業首謀者六十三名は危險分子としてシベリヤに追放されたが辭職するロシア人續出し不穩の空氣漲りつゝあるので支那官憲は不祥事の勃發を恐れロシア人の護身用ピストルの取上げを開始し時局に關する新聞記事は全く差止められてゐる、一方さしも殷賑を極めつゝあつたハルビンの銀座キタイスカヤ街も午後十時以後は人通りなく、物々しく巡邏する支那乘馬隊の吹奏する喇叭の音が深夜の寂寞を破りさたきだに不安に驅られつゝある市民の神經を刺戟し一兩日來ハルビンは漸く危險狀態に在る

ゆふべ滿鐵正副總裁告別挨拶の旅へ

【奉天特電二十二日發】山本、松岡滿鐵正副總裁は奉天以遠の社員に對する退任告別のため二十[illegible]時大連發列車で赴奉した[illegible]は岡理事、木村人事課長、木部、保々各部長、山崎其他多數の見送りがあつた

【寫眞は列車上の山本總裁】

重光總領事

廿二日夜發歸任

【東京二十二日發電】歸朝中の重光上海總領事は今夜行で歸任する

東鐵赤系現業員八百名同盟辭職

支那側虱潰しに捕縛

【ハルビン特電二十二日發】既電の通り東支線貨物ホーム赤露人の盟休はモスクワ政府の命にて東支全線に亙るものでハルビン組立工場及び機關庫の現業員のうち八百名も二十二日同盟辭職をなした、これに對し支那官憲はいちくその居宅に出張し虱潰しに捕縛してゐる

排日を中止して反露民衆的運動

國民外交協會新看板

【奉天特電二十二日發】排日を看板とした東北國民外交協會は二十一日常務委員會を開き張學良氏の內意を傳へて協議した結果この際反日言動を中止し主として露國に對する民衆的運動を起すことゝなつた、なほ從來同會の決議事項は一々之を公表してゐたが爾後一切秘密にすることを申合せた處から見て右により反日運動を全然やめたものとは解し難いものと觀られてゐる

山梨總督

昨朝東上

【京城特電二十二日發】二十一日絕對面會謝絕で官邸の奧深く書類整理に沒頭した山梨總督は二十二日午前十時朝鮮貴族、本府各局長外官民多數の見送りを受け京城發列車にて默々として東上の途に就いた、今夜は東萊溫泉に一泊、東京着は二十五日の豫定である、なほ兒玉政務總監は總督と同車水原まで見送り同所の勸業模範場を視察し、即日歸城の筈である

內務警務兩局長

異動を愼重考慮

植民地首腦更迭方針

【東京二十二日發電】各植民地では從來各種の問題を惹起したる原因は長官にその人を得なかつた點もあるが直接內務及警察事務に當つてゐる內務局長、警務局長等の人選上にその當を得なかつた結果であると爲し、松田拓相は各植民地長官の更迭を機とし之等の人事異動につき最も愼重に銓衡する方針であると

水先規則

改正の要點

水先規則は愈來る八月一日から關東廳令を以て改正されるが今回の改正內容の主なるものは

一、旅順は從來官營水先なりしも大連同樣營業水先としたこと
一、旅大兩水先規則を共通のものとし水先區を旅順、大連の二ケ所とした點
一、水先人の定數を旅順二人、大連七人とした點
一、水先人缺員の際は一定の資格を有する者から出願せしめ試驗の上水先免狀を下附すること
一、水先人の出願年齡は二十三歳以上とし六十歳迄を停年とす
一、水先區每に水先人組合を設けしめ之を認可する點
一、現在の水先人に對しては試驗を行はずして新なる水先免狀を下附することゝし現に停年を過ぎたるものに對してもなほ滿一ケ年間免狀を有効とする點

等であつて水先人の領收する料金の如きは組合によつて決定したものに對して關東廳當局が認可するといふ規則になつてゐる

日支通商條約の改訂は時期尙早

滿蒙研究會反對陳情

滿蒙研究會では廿二日日支通商航海條約改正に關し濱口首相はじめ當路に對し左の陳情書を送つた

國民政府は內に擾亂を鎭定して庶政を更新し統一國家の實現に努力し、外は不平等條約の撤廢を絕叫して條約改正を高調し、日支通商航海條約の改正も亦其一として近く改正の交涉を開始せんとす、日支通商航海條約中在支邦人の利害に最も重大なる影響あるものは領事裁判權存否に關する問題なり、支那の現在は民刑各般の立法未だ完からず司法官に對する身分の保障もなく其給與極めて薄き爲め神聖なるべき裁判が權勢の壓迫黃白の授受に依り正邪の顚倒を見るの例乏しからず、殊に行政官に依りて行はるゝ裁判の如き寒心に堪へざるものありて邦人の生命財產の保護を託するに足らず、通商條約を改正し領事裁判權を無條件に放棄するが如きは利害關係の深厚なる日本に取りて到底忍び能はざる所なり、仍て今回國民政府の要望せる條約の改訂は時機早尙なりと認め之に反對す

青島紡績工場閉鎖の外なし

不良工人の馘首に付最後の反省を促す

【青島二十一日發電】五月初め以來工人の不穩生產高減退・製品の品質惡化に惱んでゐた紡績會社六社は二十一日の定休日に次ぎ二十二日より二十五日まで一齊に臨時休業を取決め其巳むなきに至つた苦衷を披瀝して四日間は工人に對し一律に二十錢支給する旨揭示し一方支那官憲並に市黨部に對し二十二日馘首すべき不良工人二百二十名のブラツクリストを提示し、今朝九時藤田總領事は吳思豫氏と會見し最後の反省を促したが、今となつてはロツクアウトの外なしと見られてゐる

滿鐵正、副總裁けふ奉天で告別

社員代表其他に對し

【奉天特電二十二日發】山本、松岡滿鐵正副總裁は二十三日八時三十分着列車で來奉、ヤマトホテルで小憩後、十時春日小學校における在奉滿鐵社員及び奉天以北撫順安奉沿線の滿鐵社員代表に對し離任の挨拶をなし十一時張學良氏その他を歷訪告別の上十三時四十分發列車で歸連の豫定である

滿洲館の晚餐會

山本、松岡滿鐵正副總裁は二十一日午後七時より滿洲館に各理事、部長、文書、人事、業務各課長、高柳服部兩囑託を招待晚餐會を催した

送別招待會

二十四日夜の星の家に於ける滿鐵理事の山本、松岡正副總裁送別招待會は既報の通りであるが岡、藤根、齋藤、田邊、小日山理事のほか木部庶務、保々地方、竹中經理、田村興業各部長、山崎文書、木村人事、向坊業務各課長、高柳、服部兩囑託の招待に變更された

大連消防署獨立規則

大連消防署獨立による規則制定は二十二日全部の審議を終つたので多分八月一日から實施されるに至るであらう、なほ消防士、消防曹長其他の服裝は本會の施行によつて改正されることになつた

鐵道工場員の勤務時間

正式に制定

滿鐵々道部關係各工場所屬員の勤務時間は從來午前八時より午後四時まで一日八時間であつたが實際は仕事の性質により十時間も執務する者もあつたので今般正式に工場所屬員の勤務時間を左の通り制定し二十一日から施行した

一、工場所屬員の勤務時間は一日十時間とす
二、工場長は業務の性質上前條の勤務時間に依り難きか又は其の必要を認めざる者に對しては別に勤務時間の指定を爲すことを得但し一日八時間未滿の指定をなすことを得ず
三、勤務時間の始終時刻は工場長之を定む

人事

▲武田南陽氏（本社編輯局地方部長）二十二日發ハルビンへ ▲寺尾壯吾氏（大連警察署高等主任）着任挨拶のため二十二日市內各方面歷訪

安樂椅子

▲ハルビンでは露支國交斷絕後國境の兩軍は既に開戰したとか或は滿洲里、ボクラが露軍のため占領されたなどゝ謠言が頻りに行はれてゐるが▲一般市民は至極平靜でたゞ一部勞農系ロシア人がその前途を氣遣ふ餘り家族を露領又は南滿地方へ避難せしめるのと富裕なロシア商人が家財の處分に焦慮してゐる位であるため多少の動搖を示してゐる位である▲これは大部分が露支開戰を豫想してゐないのと若し萬一の場合があつても列國との關係上哈爾賓は北滿唯一の安全地帶であると信じてゐるからである▲又奉天城內でも色んな謠言を流布されてゐるが、一般商民はロシアと戰爭すると必ず支那側が勝つ、萬一支那側が敗れるやうなことがあれば日本人は滿洲に居られなくなつてをるま、をしてゐる[illegible]あつて支[illegible]ず案外平[illegible]

大連官民招待會

二十四日午後五時より滿洲館に於て開催される山本、松岡滿鐵正副總裁のお茶の會は既報旅大官民二百名餘を招待するとあつたがこれは大連の官民百四五十名の招待の誤りにつき訂正する

社會局長官

吉田氏に決定

【東京二十二日發電】社會局長官後任は本日の持廻り閣議にて左の如く決定した又吉田氏の社會局長官に任命された後任には左の如く決定した

任內務省社會局長官 內務省神社局長 吉田 茂
任內務省神社局長（二等） 兵庫縣內務部長 池田 清

コドモページ　成績紙上展覽會

山百合

朝日小學校四年　福島美智子

あるあつい日でした。町では、ほこりがぱつ／＼とたつてゐます。が山では谷の水がちよろ／＼ときもちよさそうに、ながれ、小鳥はいゝ聲でたへずうたつて、居ります。谷のよこを見ると、まつ白い山百合がさいて居ました。又あくる朝、目をさますと、むかいがわに百合がさいてゐました。すこしたつと、百合は友だちになつて、話合ひました。

「今日ずいぶんあつい日ですわね――」

「そうよ、ずいぶんあつくて私こまるわ」

二人が話合つて、居る所へ花つみがきて

「あら百合があつたよ」と、一つの百合をもぎとつて行きました。もう一つの百合はあまりのかなしさに泣いて、居ました。花つみは、すこし行くと、夕立が降つて、きました。それで、百合の花もすてゝわがやへ急ぎました。

すてられた百合は、そこに、たふれて、花びらだけが、谷から里にながれて行きました。

もう一つの百合は、そのすがたを谷の上から見て居りましたが自分も花をながしました。そしていつまでも／＼も二人はながれて、行きました。

溺れて死んだ人

桜林小學校四年　伊藤壽三子

私たちが海にはいつて遊んでゐた時のことである、大人の人が立話しで「人が二人おぼれて死んだ。一人はビールを三本のんで海にはいつたからおぼれた。一人は三十位の男で沖でおよいでたら足がつゝた。三時間海の中に沈んで浮きあがつた。二人ともしんぞうまひだ」「死にゝ來たようなものだ」といつてをつた。

私はそれを聞いて、からだがびく／＼してもう海にはいるのはいやになつた。

私は「もしこの人が内のお父さんだつたら内の者はどんなにかなしむかしれん、それと同じやうにあの人の家の人たちはどんなにかなしいことだらうと思つた。又どんなに苦んだだろうかと私はいつまでもいつまでもそのことが頭をはなれなかつた。

叱られるわけ

遼陽小學校尋五　泉光子

私はよくお母さんにしかられるがどうしてしかられるのだらうと思つてゐた。或日私はそのわけをかんがへました。よくかんがへて見るとそれは私がわるいのです。

お母さんはけつして何もしないのにおこるはづはありません。その晩又お母さんが「何もしないのにお母さんはよくおこる人だと思つているだらう」とおつしやいました。私は「私がわるいからしかられるのです」といゝますと、お母さんも「さうよそんなにわるくないのにだれがむちやくちやにおこるの」とおつしやいました。私はこれからよく氣をつけようと思つてゐます。それで私はお母さんが時々よいことを敎へて下さるのでしからられてもすぐ自分のわるいことがわかります。お母さんは自分の小さい時のくろうのことをくわしくおしへて下さいました。私はまたこのくらいしかられてないたりしてはいけないと思ひました。私はこれからしかられたらすぐあやまろうと思ひました。私はお母さんの小さい時の話をきいて、なんだかかなしくなりました。

私のすきな木下さん

嶺前小學校三年　高宮貞子

「高宮さん」と、おどろくやうなこゑでよぶのは木下さんです。せいのひよろつと高い、すこしやせた人で目は小さく、口も小さくて、ほんとにおにんぎやうのやうです。木下さんはとてもわらつて、「あはゝゝゝ。わはゝゝゝ」と、ちよつとのことでもわらひます。讀方の時よくはつぴやうをして私のはつぴやうしない時でも、「はい／＼先生はい」とげんきよく答へます。はしる時に上をむいてはしるので私はをかしくたります。自分のはしる所はどんなにをかしいかわからないのにいつも私はそんなことばかり思つてゐます。木下さんはいつも上野さんとあそんでゐます。シーソーがすきかしらないけれども、いつもシーソーにのつてゐて私とのると「あゝ、こはい」と、おほごゑでさけびます。木下さんは此のごろ一しようけんめいにおべんきやうをしてゐるのでせう。だん／＼せいせきもよくなりました。私も時々木下さんと遊びます。木下さんと遊ぶとほんとにおもしろうございます。木下さんは梅組のふく組長になつてゐますが、これからだん／＼おべんきやうがよくなるときつと、組長にでもなれるでせう。木下さんの讀方のしらべ方をノートのてんらんかいの時によく私は見ました。字もきれいでよくわかるやうにしらべてあります。私はかんしんしました。私もこれから木下さんのやうにねつしんにべんきやうしやうと思ひます。

風景（クレパス）　嶺前小學校五年　釘島將俊

イチゴ取り

大廣場小學校四年　萩原貞雄

おとついは日曜でしたのでお晝から大正ぼくじようにイチゴを取りに行きました。はじめは道にまよつて、こまつて／＼もう歸らうかと思ひましたけれども、元氣を出して人に聞いては進みましたので、とう／＼ぼくじように着きました。着いて見ると、もう人が一ぱいで、イチゴはなくなりさうでした。それで僕たちは急いでイチゴを取りました。たちまち二たかご取つてから少し休んでゐると、兄さんが自轉車に乘つて來ましたので、兄さんの自轉車につけて内へ持つて歸つてもらひました。それから僕たちは電車で歸りました。内へかへると、もう足が立たないほどつかれて居たので、おふろには入つて、ベランダで其のイチゴをたべました。其のイチゴをたべた時はあごがをちるほどおいしかつた。

まよひ子

伏見臺小學校尋二　外松みつ子

このあひだのあさ、私がめをさますと「かあちやん、かあちやん」となくやうなこゑがするので、私はびつくりしておきておそとに出て見ますと、四つか五つぐらゐの子どもが、あつちへいつたり、こつちへいつたりしてないてゐます。私はかはいさうになつたので、ねえさんをよんできて、おそとにつれていきました。ねえさんはかはいさうだといひながら「おうちはどこ」ときくけれどないてばつかりゐます。それでおうちへつれてかへつて「おなまへはなんといふの」と又ねえさんがきくと「いくちやんといふの」といひました。それからおかあさんのところへつれていつて、おかあさんにきくと「おにかいの人はしつてゐるかもしれないからきいておいで」といつたのでねえさんがききにいきました。おにかいのおばさんは「そんな人なんかしらないよ」とおこつたやうにいひましたのでねえさんはしやくにさはつたとみえておこつてかへつてきました。おとうさんが「どういつたか」とききますとねえさんは「そんな人しらないよといひました」とおとうさんにいふと「そうか」といひました。おとうさんは「それではうちでごはんでもたべさせたらいい」といふといくちやんは又なき出してしまひました。みんなこまつて、かうばんしよにつれていからとしたときげんくわんのベルがリンリンとなつたので、いつてみると「うちの子どもはきてをりませんか」といひますので「なまへはなんといひますか」とききますと「いく子」といひましたのでいくちやんをつれていきました。おとうさんが「この子ですか」とききますと「はい」といひました。そして「どうもすみません」といつてをばさんはでていきました。おとうさんは「よかつたねえ」とおつしやいました。

二りん車

南山麓小學校二年　中楯三郎

ぼくは、このあひだの日えうびにおとうさんに、二りん車をかつてもらひました。ほんとにうれしいので、ぼくはすぐのりましたが、はじめてだからうまくのれません。いまにぼくのにいさんが二人東きやうからかへつてくるからをしへてもらひます。いまはのられないから、二りん車をもつてあるくばかりです。

ピアノ

沙河口小學校一年　高本正

七月二日ニ ピアノガキマシタ。カツタトキカラ アタラシイデス。ミンナガ ボクガヒクノダ ワタシガヒクノダ トイツテ ケンカヲシマスノデ ジヤンケンポンデ カツタヒトカラ 一バンニヒキマス。ソシテジユンジユンニ ナランデヒキマス。オカアサンノ バンニナリマスト ボクタチハ オオキナコエデ ウタヒマス。オトウサンモ ガクカウカラ カヘルト スグピアノヲ ヒキマス

夏の夕

奉天彌生小學校尋五　寺田達

夕もやにつゝまればやつとしてゐる車道もだん／＼おだやかになつて空には星も群てゐる。

「あゝ、今日は七夕樣のお祭だつた」

「そう／＼道理で天の川が出て居る」

時々自動車のヘツドライトの强い光りがまぶしく目の前を流れて行く。

又、流星がとんだ。

氣持のよい夕である。

本たて

金州小學校尋二　戸崎巖

つくえの上の本たては
たくさんご本をだつこして
おもたさうにしてゐるね
ぼくは本たてが大すきよ
小さいかはいゝ本たてよ
ぼくの本たて小さいけれど
たくさんご本がたてゝある
ぼくの本たてよい本たて

夏

夏がきますよ
夏がくる
夏はほんとに
あついなあ
ぼくはがくかうにいくときは
夏ふくをきていきますよ
ぼうしもひをいをつけていく
夏はほんとにいいときだ
やまにもいけるうみにもいける

すみちやん

伏見臺小學校二年　本田ひさ子

うちのすみちやん
なきみそよ
おちちがほしいと
ないてゐる
おしめがぬれたと
ないてゐる
ほんとにすみちやん
なきみそよ
おみやまゐりが
すんだので
おそとにでたいと
ないてゐる
おそとにでると
だきぶとんにつつんで
なきやんでねむたさう
おうちへかへると
又なきだします
ほんとにすみちやん
なきみそよ

社員を陶醉させた 山本滿鐵總裁の挨拶振り

別れを惜しむ言葉場内に溢る きのふの告別式

山本、松岡滿鐵正副總裁の社員に對する退任告別挨拶は既報の如く二十二日午前十時から協和會館に於て行はれたが總裁のアノ透徹した聲で挨拶の第一聲が發せられるや場内にあふれた社員は水を打つた如く鎭まり返つて嚴肅そのものであつた、而して條理整然と肺腑から出る

熱烈な 挨拶の一句々々に社員は陶醉して——然もその一言でも聞きのがすまいといふ熱心と緊張さが場内を鎖めて從來に於ける社長の告別式に見られぬ莊嚴さであつた、四十分に亘つた挨拶が濟むと——政變の關係でこの總裁を滿鐵から奪はれるとは實に惜いものだ滿鐵の損失は勿論滿蒙開發の上からもまた國策からしても殘念なことだ、眞劍になつて滿鐵社業に全勢力を傾注した總裁乃至社長は我山本總裁以外には全くない、アノ大事業を計畫するなどは

名總裁 といふよりは寧ろ偉人だと激賞したさゝやきが隨所に流れてゐた、置土產の停年制廢止等は單に社員に對する小問題であるが、あゝした大計畫の人に斯かる小さな問題まであの頭に考へられてゐるかを思ふとその勢力絶倫には實に驚いたものだと感激して淚ぐましい場面さへ見せてゐた、總裁の挨拶後松岡副總裁の簡單な挨拶があつて社員倶樂部大ホールに立食の宴となつたが、階上階下とも立錐の餘地なき

盛況で 告別式場及び立食宴場が斯く多數會したことは滿鐵創始以來の初てゞこれで見ても山本松岡正副總裁に社員が如何に慕つて別れを惜んだかを如實に物語つてゐるかゞ想像される殊に告別の挨拶の際頭を低くして誠意のあふれた愛嬌(殊更に作つたものでない)に堂々と大事業計畫の大綱を詳述したことだけは將來恐らく社員の忘れ得ざるところであつたらう

愈よあすに迫つた 滿洲豫選順序決る

井上工大學長の始球式で開始 けふ組合抽籤決定す

全滿洲及び北支那各地中等學校の精鋭五校を集めた本社主催の全國中等學校優勝野球大會出場滿洲豫選會は參加各學校も全部着連したので本日正午より本社樓上に於て

主將會議 を開き組合せの抽籤を行つた上にて二十四日午後二時三十分より擧行することゝなつた、當日參加チームは定刻本社員の案内で前年度の優勝校たる大連商業軍の高く捧げる光輝燦然たる豫選大會優勝旗を先頭に莊嚴なる入場式を行ひ、引續き優勝旗返還式、主催者の挨拶あり、右終了後一同退場、當日の交戰チームのシートノックに移り終つて本大會に一大光彩を添へる旅順工科大學々長の始球式に依り第一戰の火蓋が切られることになつてゐる、本大會の各試合をジャッヂする審判員は既報のごとく

大連球界 に於ける現役豫備を通じての一流の士のみである、また大會期間中の球場はメーンスタンド及び一壘三壘側の一部觀覽席を除く外野全部は開放して一般市民の隨意觀覽に供することゝしたから滿員とならぬ内に入場されたい、滿倶、實業兩後援會員は各等級により指定箇所に入場差支へなく、會員券の指定座席は認めない代り會員券の入口提示のみで入場を願ふことゝした

各校練習時間 滿倶球場にて

二十三日朝着連する撫順中學を除く各校は何れも二十二日練習を行つたが、本日は午前九時より滿倶グラウンドに於いて各校が左記時間割により練習を行ふことになつてゐる

奉天中學(午前九時より十時三十分まで)▲青島中學(午前十時半より十二時まで)▲撫順中學(午後一時より二時半まで)▲安東中學(午後二時半より四時まで)

而して以上各校は練習終了後午後四時より實業球場に行はるゝ關大對實業團の第一回戰を見學することゝなつてゐる

滿倶遠征團 うらる丸で 今日出發

全國都市對抗野球大會に出場する滿洲倶樂部野球部選手一行二十名は、中澤監督引率の下に愈本二十三日出帆のうらる丸にて出發することとなつた、出場を心配されてゐた井田選手も多分同行をするであらう、尚同軍は大會前に横濱高商と一戰を交え歸途京都に立ち寄て三高と戰ふ筈である、一行東京での宿舍は東京市赤坂區田町二ノ一六對翠館と決定した

各學校の宿舍

豫選大會出場のため來連した各參加學校の宿舍並に引率教諭は左の通りである

△青島中學(野球部長江島茂之教諭)信濃町富士屋旅館
△奉天中學(野球部長細川教諭)信濃町東旅館
△安東中學(野球部長柏原一馬教諭)浪速町三杉旅館
△撫順中學 信濃町大和館

滿洲豫選を控へ輕い練習

全國中等學校野球大會の滿洲豫選會を前に控えた參加各チームはきのふの雨に祟られて滿倶球場は使用が出來ず止むなく安東・奉天兩軍は大連商業球場で・青島軍は工專球場で輕い練習を行つた・各チームとも一名の故障者もなく各々特徴のあるフリーバッティングに自分達の自信の程を示してゐた・併し大切の試合を前にしてゐる事であり各々一時間餘りで宿舍に引揚げて休養し・夜は部長監督を中心にして明日以後の作戰計畫に耽つてゐた・主將會議は二十三日正午(夕刊午後三時とあるは誤り)より本社に於て開かれ組合せの決定を見ることとなつてゐる(寫眞は奉天軍(上)と安東軍)

太田選手 單試合准決勝戰で勝つ

【ドイツデュツゼンドルフ二十一日發電】當地庭球大會シングルス准決勝戰で太田選手は南阿のロビンス選手を破つたが・ダブルスではノールネー選手と組み准決勝戰で敗れた

太田 {六—一 六—三} ロビンス
ボロトラ グレッサー {六—三 六—一} 太田 ノールネー

州外野球大會 安東五點長春三點

【長春特電二十一日發】州外野球大會二回戰は二十一日午後四時から安東對長春にて開始され・四回目に安東一點・五回目同じく二點七回目に長春三點・八回目に二點をいれたが日沒のため八回にてコールドゲームとなつた

長春軍安東に優勝 對撫戰に奉天大捷

【長春特電二十二日發】州外野球大會第三日は長春對安東二回戰を擧行し二回目に安東一點・三回目に長春二點・六回目に安東三點・七回目に長春二點・八回目に安東二點・九回目に長春三點を入れ結局七對六で長春が優勝した・奉天對撫順二回戰は午後四時から開始され撫順軍常に奉天軍を壓し十三點を入れたるに反し奉天軍得點なく零敗を喫した

全京城軍組織 都市對抗に出場

【京城特電二十二日發】府廳軍の出場中止によつて全鮮野球界に意外の波瀾を惹起した・都市對抗野球大會の全鮮代表チーム選出の一切を一任された實業野球聯盟に於て協議の結果・オール京城チーム組織に決し二十二日午後に至り五大チーム監督集合推薦選手二十四名を持ちより最後の銓衡は高橋監督に一任して・漸く波瀾を乘りきり參加に確實となつた

旅順の野球戰 滿鐵々道軍勝つ

滿鐵々道部野球團對旅順スタークラブ(軍隊野球團)の野球戰は二十一日午後一時から旅順兒玉グラウンドで開催されたが・十三對十三にて補回戰に入り・同同鐵道軍一點を入れ十四對十三にて鐵道軍勝つ

時局を他所に 繪筆に親む

支那の惑星馮玉祥

【天津】西北問題の解決案が決定し時局は平靜に復したが馮玉祥は依然として時局の惑星である、最近太原よりの消息によれば宿痾は依然快癒に至らず服藥を續けて居り、最近は氣散じに書筆を揮つて繪の稽古に熱心して居るとの事である、訪客に語る處に依れば二集團軍の編遣及西北善後策は閻氏と協商して大體既に決定し自分は全く責任を卸し宿題は終つた目下持病が平癒せず妻は分娩も間が無いし、此處は閑居に最も適當である故當分他に行かず書畫でも習修したり、總理の事業計畫でも研究して他日外遊の際參考とする考へであると頗る暢氣な生活を續けて居るさうである

關大對實業一回戰

けふ午後四時=實業球場て

入營期間中でも給料を支給する

老社員が痛手の停年制廢止と共に 滿鐵社員の二大福音

滿鐵社員の徴兵應召入營の場合長期即ち二年、一年半、一年、六ケ月といつた入營者は從來の規定によると第一ケ月目は俸給全額、第二ケ月目はその半額、第三ケ月目以降は全然支給されないことゝなつてゐたが、今度該規定を改正して第一ケ月目より入營全期間の間本俸の

三割を 家族持ち(妻帶者乃至兩親の扶養義務者)は同五割を支給し、また短期應召者(教育勤務召集)は從來缺席扱ひであつたのを出勤扱ひにすることゝなつた、滿鐵の昇給及び賞與は缺勤數に至大の關係を有するので短期應召が缺勤扱に改正されたことは社員にとつて非常な福音といはねばならぬ、又た山本總裁の退任告別の際にもある如く停年制の廢止であるがこれは社業に對する有能、無能の振分けは勿論實務化

經濟化 からいつても將た滿蒙啓發の材適所から見ても最も適切なもので、これが廢止は徴兵應召關係規定の改正と共に社員は非常に喜んでゐる、前哈爾賓事務所長古澤幸吉氏の如きは滿五十五歳の停年に達せしも依然延長されつひ先達て依願免となつた位で、山本總裁は就任後この方面に對する問題に特に考慮を拂つてゐた、而して大體の決定まで見た職制改正が實現せずして終つたに拘らず前述の二件だけは滿蒙に活動する社員に對し最も緊切なものであつただけ置土產として總裁の

決裁を 得たことは全社員の擧げて感謝してゐる處である因に本年停年に達してゐた社員は二十數名であつたと

豪雨のため 鐵道の橋梁危し

列車途中に不時停車 得勝臺亂石山間で

【鐵嶺特電二十二日發】連日の豪雨に鐵道方面の被害少からず保線區では徹宵警戒中の處、二十二日正午ごろより得勝臺亂石山間大范河の支流舊范河橋に水勢を增し橋梁危險に瀕したるため下り二十一列車は亂石山に停車、上り旅客二十二列車及び貨物六十六列車は何れも鐵嶺に停車した、保線區では一時半七十列車に工事材料を積載して現場に急行した

大作が多い 楢原氏の個展

楢原益太氏の個展が二十三日から三日間三越で開かれる、氏は太平洋畫會の出身であるが後岡田三郎助畫伯に才能を見出され帝展に數回入選し主として臺灣及び南支の風景を出てゐる、此度陳列する作品も主として南支那風景に最近北平での製作を加へたものであるが今春の帝展へ出品する筈の作品や以前に出品したものもあり、百六十號三十號と云つたやうな大作があつて數も約八九十點にのぼり近來稀なる興味ある展覽會である

けふのラヂオ

昭和四年七月廿三日(火曜日)

自前十一時 相場(特產、錢鈔、株式、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特產、錢鈔、各地相場)ニュース
自午後三時三十分 相場(錢鈔、株式、各地相場)ニュース
自午後三時五十分 野球連絡放送(實業對關大第一回戰)
自午後七時三十分
一、ニュース
二、筑前琵琶「齋藤實盛」(法橋山德重旭一)
三、ラヂオドラマ新時代劇「討つものと討るゝ者」喜樂協會放送 指揮武田芳明、時代德川時代秋の夕暮、場所奥州那須野ケ原、西國武士の後家お國關淸子、その從者仲間五平本田正二郎、虚無僧地田友之亟大島猛夫、疑香美崎由市
四、「說教落語」福樂キートン
五、支那劇「女起解」運東倶樂部員
六、料理獻立
七、天氣豫報

愛慾の窓（47）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

金（七）

熱し久彦も、心から美知子に今までどほり小森商事に勤めてゐろとすゝめたくはないのだつた。何も美知子の方に落度があるわけではなし、自ら退社する理由はないと云へば云へるもの、それは要するに理窟で、美知子にしてみれば極りの惡い思ひも忍ばねばならず、今後第二第三の誘惑なり迫害なりを豫想し覺悟してゐなければならないのだ、出來ることならば辭めた方がいゝ、さう久彦も考へずにはゐられないのである。だが、辭めては困る美知子の境遇から考へると、道樂や醉興で職を求めてゐるわけではなし、破廉恥な小森の仕打に閉口して逃げだすといふのも、忌々しいわけであつた。

「……美知子さん、兎に角、あなた今日は一日ゆつくりとお考へになつたらどうですか？　實は僕、今夜小森君に會ふ約束になつてゐるんです、他の用件のためにね。で、都合によつたら、僕から小森君にあなたのことを巧く話して上げてもいゝ、小森君だつて、さう執拗あなたを追つかけるやうなこともしまいと思ふ……」

と、久彦は暫くの沈默の後に云つた。

「僕は、これから社へ一寸顔を出さなければならず、その上、一寸他にも用があつて、帝國ホテルに友人を訪問しなければならないといふわけなんですが、あなたはお差支へがなかつたら、僕の留守を、暫くこゝで遊んでゐて下さい、本職には、碌なものもありませんけれど、半日や一日の暇を潰すぐらゐの讀物は何かありませう……」

「……有り難う御座います、お忙しいところを、飛んだお邪魔をして」

と、美知子は感謝を籠めた眼でぢつと久彦を見上げた。

「……それから階下には食堂もありますから、何でも召上れ、尤も碌なものは出來ないですが……」

と、久彦は笑つたが、ふと思ひついたといふ風で「……何うです一寸食堂へ行つてみませんか？　御案内しときませう、實は僕、出かけに何か食べないと、ペコ／＼なんです、はゝ」

「……お供しますわ」

と、美知子は遠慮なくさういふ久彦の後に跟いて、階下の食堂へはいつた。下宿人以外の人のためにも開かれてゐるレストランなのである。

そこで久彦は手早く手洗所へはいつて朝の含嗽と洗面をすまし、にこ／＼した顔付で、美知子の前の椅子に就いた。

「……何を召上る？　元氣をお出しなさいよ、しかしよく訪ねて下さいましたね、僕みたいな人間でも、役に立つ場合もありますよ、はゝ」

と久彦は明るく笑つて、自分は朝食のオートミルを誂り、美知子のためにはレモンスカツシュを取つてすゝめた。

親しく女客を連れて來たので、顔馴染の食堂のボーイが、遠くの方で微笑つて

彼方の卓、此方の卓、といふ風に、ぽつん／＼食卓はふさがつてゐるやうだつたが、いづれもこのアパートメントの止宿人らしく見えた。たゞ、先刻から入口に近い圓卓に、卓上の盛花に顔を隱すやうにしてゐる一人の男が、外からの客らしかつた。久彦には背なかの方にあたつてゐるが、美知子には正面で、此方は少しの注意も拂はなかつたが、向ふは盛花の蔭から、鋭く眼を光らして、恰も美知子の行動を監視してゐるもののやうだつた。要心深く、朝からすーつと美知子の後を跟けてゐたのであらう。ふと、美知子は何氣もなしに、そちらへ視線を向けたが、忽ちすつと椅子から立つて「……あら！」と低く愕きの聲を放つた……。

滿日文藝

滿日柳壇

『扇風機』　高橋月南選

扇風機去年のリボン附けたまゝ　遼陽　みのる

景氣よく電扇に吹かす奥座敷　大連　無六

課長室だけは自由な風があり　大連　渓騰

扇風機チト活躍へ邪魔がられ　旅順　ソ六

結び立てを氣にして電扇ちとじらし　大連　楽寝坊

五客

兩親の議論へ電扇の向を替へ　海龍縣　杢堂

扇風機床屋で夢を見て戻り　奉天　瓢六

カフエーの電扇五色の風を吐き　大連　農夫

給仕へも僅かに屆く扇風機　大連　桂馬

扇風機から夢になる晝寢の子　沙河口　素寢坊

三光

（人）

扇風機疲れたやうに一回轉　大連市眞金町　渡邊本の葉

（地）

扇風機晝寢の夢を輕く揺り　旅順市磐手町　岡野柔丸

（天）

電扇へ寢轉んで雜誌讀み溜し　奉天竹園町　田中浦樂

軸吟

電扇の風所それて豆扇　電扇に吹かれて儲け讀む心地

新刊紹介

▲近代俳句選集（水野六山人著）本集は元祿時代より明治大正に至る時代的代表作一千餘を精選し作家百五十名、卷末に作家の小傳を附す（四六版一八〇頁一圓半東京神田區錦町東京堂）

▲句集蘭晒（長谷川かな女著）かな女の俳壇で知られたる閨秀作家である、本集はその勞作を年代順に蒐めたもの（四六版布版二百頁一圓八十錢東京神田區錦町東京堂）

▲知らねばたらぬ漢文法（陸軍教授飯田傳一著）東京小石川區林町廿一東興社（定價廿錢）

▲書畫世界（七月號）大阪市北區眞砂町十一『書畫世界社』（二十錢）

▲ツーリスト（七月號）東京市麹町區丸の内一丁目ジヤパンツーリストビユーロー（定價四十錢）